

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハーティラボラトリー		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51	(回答者数) 45
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さま一人ひとりの特性に応じた発達支援	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントに基づき、お子さまの特性や発達段階に応じたきめ細やかな発達支援を実施している。 ・活動プログラムが固定化しないよう、会議で振り返りを行い、内容を検討している。 	更なる振り返りを通して、お子さまに必要な発達支援を検討し、支援内容の充実を図る。
2	保護者様との連携・情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様からの相談に対し、迅速かつ丁寧な対応を行っている。 ・送迎時にお子さまの様子を具体的に報告するとともに、活動日程表やInstagramを通して活動内容を共有している。 	引き続き定期的な発信を行い、情報共有を充実させることで、保護者様のさらなる理解につなげていく。
3	職員のチーム支援と安全体制	<ul style="list-style-type: none"> ・朝会や会議で情報共有を行い、職員間の連携を図っている。 ・PDCAサイクルを活用し、業務改善に継続的に取り組んでいる。 ・ヒヤリハット・インシデントの共有を行い、安全管理の徹底に努めている。 	情報共有、業務改善、安全管理の仕組みを強化し、更に質の高い支援体制の構築に努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お子さまに対して支援の意図を伝える力	お子さまの発達段階に応じた説明方法の統一が十分でないことが要因と考えられる。	視覚支援や事前説明の工夫を取り入れ、お子さまに応じて支援の意図をわかりやすく伝える取り組みを強化する。
2			
3			